

日本社会福祉学会関西地域ブロック・
関西社会福祉学会 2016 年度年次大会

地域生活支援のためのメゾソーシャルワーク実践について

発表要旨集



月日：2017年3月11日（土）

会場：関西学院大学 G 号館

（社）日本社会福祉学会関西地域ブロック
関 西 社 会 福 祉 学 会

自由研究発表

【第1分科会】 会場：G号館 203 教室

全体統括者 加藤 博史 (龍谷大学短期大学部)
司会者 小西 加保留 (関西学院大学)

10:00-10:30 榑原 良平 (関西学院大学大学院)

高齢者のスピリチュアルペインの研究

ー介護施設を利用する要介護高齢者と高齢者大学へ通う健常高齢者を対象とした分析からー

10:30-11:00 中尾 賀要子 (武庫川女子大学)

日本版ガイドド・オートバイオグラフィーによる回想法とその効果

ー参加を終えた女性高齢者らの語りからー

11:00-11:30 宮武 正明 (池坊短期大学)

子どもの貧困と学習支援

ー貧困の連鎖を防ぐ学習支援はなぜ大切なのかー

11:30-12:00 小笠原 慶彰 (神戸女子大学)

地方社会事業職員制の検討

ー人物としての社会事業主事(補)研究の手がかりとしてー

【第2分科会】 会場：G号館 204 教室

全体統括者 小山 隆 (同志社大学)
司会者 川島 恵美 (関西学院大学)

10:00-10:30 松本 理沙 (同志社大学)

障害者のきょうだいが持つ遺伝に対する意識

ーセルフヘルプ・グループにおける情報提供のあり方への提言ー

10:30-11:00 杉田 貴行 (同志社大学大学院)

ソーシャルワーカーとカウンセラーの対人援助ネットワークの実際に関して

ー新聞記事の記述内容における連携・連絡・調整・協働の比較ー

11:00-11:30 早川 明 (龍谷大学短期大学部)

「ギャンブル障害」の現状と課題

ー大学生を対象とした予防的介入プログラムの開発の必要性についてー

11:30-12:00 三島 亜紀子 (同志社大学)

ソーシャルワークと「社会的なるもの」

ーソーシャルワークのグローバル定義における the social 観ー

休 憩

12:00~12:45

年 次 総 会

12:45~13:15

会場：G号館 202 教室

会長および開催校挨拶

13:20~13:30

会場：G号館 202 教室

開催校企画シンポジウム

13:30~16:30

会場：G号館 202 教室

テーマ:地域生活支援のためのメゾソーシャルワーク実践について
～路上生活者や引きこもりの人、薬物依存者に焦点をあてて～

企画趣旨:本シンポジウムは、実際に現場でミクロとマクロをつなぐ メゾソーシャルワーク実践に関わっておられる方々をお招きし、その実態について議論するとともに、メゾソーシャルワーク実践の必要性を明らかにしていくことをねらいとして企画しました。

◆シンポジスト

泉 佳 孝 (神戸保護観察所 統括保護観察官)

勝部 麗 子 (社会福祉法人豊中市社会福祉協議会福祉推進室長)

倉田 め ば (NPO 法人大阪ダルクディレクター/Freedom 代表)

白波瀬 達也 (関西学院大学社会学部准教授)

◆コーディネーター

牧里 毎 治 (関西学院大学人間福祉学部教授)



日本社会福祉学会
Japanese Society for the Study of Social Welfare



日本社会福祉学会関西地域ブロック・関西社会福祉学会 2016 年度年次大会
-地域生活支援のためのメゾソーシャルワーク実践について-

開催日：平成 29 年 3 月 11 日

主 催：(社)日本社会福祉学会関西地域ブロック
 関西社会福祉学会

事務局：関西大学人間健康学部（岡田研究室）

住 所：〒590-8515

堺市堺区香ヶ丘町 1 丁 11 番 1 号